

神奈川シニア連合



第65号

横浜市中区山下町24-1
ワークピア横浜
神奈川シニア連合
発行責任者 池田捷治

個人会員の加入・ボランティア基金の設立など決定

神奈川シニア連合第26回総会は、11月22日（水）13時00分からワークピア横浜において、136名が参加し開催されました。総会では、①日本退職者連合・連合神奈川と一体となった活動、②「組織拡大・強化」活動の推進、③地域に根ざしたボランティア活動等の推進、④個人会員の加入やボランティア基金の設立など2018年度活動方針が満場一致決定しました。



総会は、鈴木副会長の開会のあいさつで始まり、議長に青木修二さん（自動車総連）と山本栄一さん（自治労）を選出し資格審査が行われた後、永井会長が「より充実した地域包括ケアシステムの確立をめざし、神奈川シニア連合の総力を結集する」と挨拶。引き続き柏木連合神奈川会長、人見日本退職者連合会長から激励を受け、神奈川県、横浜市、福祉団体それぞれ代表から祝辞を受けました。

そして、池田事務局長から経過報告と会計報告を行った後、角掛会計監査から会計監査報告が行われ、両報告とも意見なく承認されました。

続いて、第1号議案「運営規則の規定の改定・役員任期の延長（案）」、第2号議案、新たに導入する個人ならびにグループ加入や結成25周年事業として創設したボランティア基金などを提案した「活動方針（案）」、第3号議案「予算（案）」、第4号議案「役員の改選に



ついて（案）」が提案され、それぞれ満場一致決定されました。その後、スローガンの決定、総会宣言の採択に

続き、退任役員等6名への感謝状と記念品の贈呈、新旧役員のあいさつが行われ、最後に永井会長の音頭で「団結頑張り」を声高々に三唱し総会の幕を閉じました。総会後は、柳家一琴師匠から落語「妾馬（めかうま）」と紙切り芸を披露頂き、会場全体に笑い声が響く楽しい時間を過ごしました。なお、2018年神奈川シニア連合役員は、裏面に掲載した表のとおりです。

惜しみないご尽力に感謝

第26回総会をもって退任される役員、並びに前年度退任された役員等に対し「神奈川シニア連合表彰基準」に基づき感謝状と記念品の贈呈が行われました。表彰された皆様には、常任幹事・幹事・会計監査事務局次長として、神奈川シニア連合の発展にご尽力いただきました。心からお礼と感謝を申し上げます。

北鬼江 武 様	（電機連合）	16年
塩田 清 様	（自動車総連）	14年
吉田 敏長 様	（海員組合）	13年
内川 健治 様	（私鉄総連）	12年
久保川 昭一 様	（情報労連）	6年
山田 文雄 様	（私鉄総連）	4年

2018年役員一覧

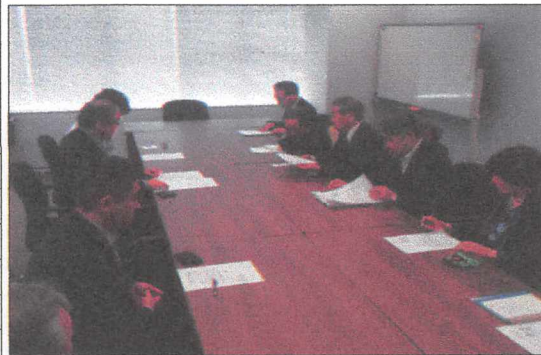
	氏名	産別名	備考
会長	永井 碩夫	自治労	再任
副会長	臼井 百合子	神教協	再任
〃	高橋 敏男	自動車総連	再任
〃	鈴木 武男	基幹労連	再任
〃	加納 一敏	UAゼンセン	再任
事務局長	池田 捷治	電力総連	再任
事務局次長	東谷 裕明	情報労連	再任
〃	峰 明良	JEC 連合	再任
〃	米塚 和哉	内局	新任
常任幹事	古谷 徳重	自治労	再任
〃	佐藤 正治	全水道	再任
〃	田戸 幸男	JP	再任
〃	加藤 照雄	JAM	再任
〃	相澤 義昭	私鉄総連	再任
〃	笹谷 靖博	全駐労	再任
〃	鯉沼 秀雄	運輸労連	再任
〃	若林 康夫	全印刷	再任
〃	杉永 哲也	JR総連	再任
〃	奥田 寛義	電力総連	再任
〃	室田 實	フード連合	再任
〃	小野 久二男	電機連合	再任
〃	小黑 敏行	国交総連	再任
〃	中田 大哉	森林労連	再任
〃	小布施 虎三	JR連合	再任
幹事	後藤 剛夫	自動車総連	再任
〃	高木 信行	〃	再任
〃	高野 きみ子	〃	再任
〃	石井 孝彦	基幹労連	再任
〃	石井 實	〃	再任
〃	高久 薫	自治労	再任
〃	藤井 照夫	〃	再任
〃	菊地 和子	〃	再任
〃	杉本 秋一	情報労連	再任
〃	明珍 スイ	〃	再任
〃	伊奈 美恵子	神教協	再任
〃	小林 まき	〃	再任
〃	三橋 正俊	〃	再任
〃	小林 薫	全水道	再任
〃	坂田 克己	JP	再任
〃	小林 徹也	私鉄総連	再任
〃	遠藤 智子	UAゼンセン	再任
〃	海老沢 高則	JEC 連合	再任
会計監査	角掛 和吉	JAM	再任
〃	市川 ひろみ	神教協	新任
顧問	福田 利久	自治労	再任
〃	野中 美久	情報労連	再任
〃	新田 尊士	JAM	再任

連合神奈川第29回定期大会

次の飛躍へ 確かな一歩を

連合神奈川第29回定期大会は「次の飛躍へ 確かな一歩を」をテーマに、11月9日（木）13時00分からワークピア横浜において開催され、神奈川シニア連合永井会長、池田事務局長、東谷事務局次長が傍聴しました。神奈川シニア連合との連携強化では、

①6万人神奈川シニア連合に向けたオルグ活動の支援、②高齢化社会に関わる地域政策づくりに向けた意見反映と行政への政策制度要求、③住み慣れた地域で安心して生活できる環境整備に向け、地域包括支援センター、24時間定期巡回・随時対応訪問介護・看護サービス、地域の見守りネットワークの体制強化を求め、高齢者福祉の方針などが決定しました。神奈川シニア連合は、今後とも連合神奈川の諸方針に沿って現退一致の活動を展開し、諸制度の前進をめざします。



平塚市への要請

神奈川シニア連合は、連合神奈川・金井副事務局長に取り計らいをお願いし、10月31日（火）に平塚市、11月6日（月）に大磯町に対し「介護保険制度等の充実に関する諸要請」と日本退職者連合と神奈川シニア連合の連名の「低所得高齢単身女性問題に関する政策・制度要求」を提出しました。

この要請は、昨秋年に各産別退職者会から神奈川シニア連合に提出された制度・政策要求を①地域包括支援システム、②介護保険制度、③医療保険制度、④地域公共交通の充実、⑤不招請勧誘・販売に対する規制強化の5課題16項目にまとめたものです。12月末までには、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市・民進党神奈川県連に要請書を提出し、制度・政策要求の前進をめざします。

なお、各行政からは、今年度内に要請内容に対する回答や見解が送付されることになっています。

介護保険制度等の充実に関する諸要請
平塚市を皮切りに行政に提出